

いわき芸術文化交流館アリオス

プレスリリース資料

- 平成 23 年度自主事業の方針について
- 「おでかけアリオス」6 月実施分ラインアップ
 - ・いわき市内の高校演劇部のためのワークショップ
 - ・ままごと「わが星」リーディング公演
 - ・木田奈保子 ソプラノ・コンサート
 - ・珍しいキノコ舞踊団 ダンスワークショップ
 - ・ko-ko-ya ライブ
- Alios plants! 「アートおどろく いわき復興モヤモヤ会議」

平成 23 年 5 月 31 日



Alios
Iwaki Performing Arts Center
いわき芸術文化交流館

いわき芸術文化交流館アリオス

いわきアリオスの平成 23 年度自主事業の方針について

いわきアリオス・チーフプロデューサー 児玉 眞

東日本大地震の影響でいわきアリオスも損傷を受け、しばらくは自主事業をすることができませんでしたが、再び、アーティストと市民の皆さんとの様々な形での出会いをコーディネートしていけることを、深い喜びを持って受け止めています。

震災を受け、今年はいわきアリオスの事業をどうするか、ということについては、当館の企画制作課のスタッフが4月上旬に話し合い、2つのことを決めました。

- ① 芸術にできることを大事にしながら、「おでかけアリオス」に象徴される教育現場やコミュニティへのアプローチを丁寧に、丁寧にやっぺいこう。
- ② ホールや劇場での自主公演は、今年度はいわきが震災から未来に向けてのあり方の象徴になるような事業に限定して、市民の皆さんにきちんと届けていこう。

ハードの修復でホール・劇場系施設が使えるようになり、自主公演が実施できるまでにはもうしばらく時間がかかるとは思いますが、コミュニティへの事業は、できれば早い方がよい。ということで、6月に行う、劇団「ままごと」による演劇ワークショップ、木田奈保子(ソプラノ)、珍しいキノコ舞踊団、ブラジル音楽のインストウルメンタル・バンド「ko-ko-ya」(コーコーヤ)のアウトリーチ(おでかけアリオス)、それに「アリオス・プランツ!」という、5つのコミュニティ事業から、今年はいわきアリオスの事業をスタートさせたいと思います。

未曾有とも言える震災の中に身を置くことは、当館のスタッフにとっても呆然とするくらいの未経験のことです。企画制作課のスタッフは4月に入ってから、今までの「おでかけアリオス」その他の事業でおつきあいしたコミュニティや学校などの伝手を頼って市内各所にお邪魔をして、話をゆっくり聞かせていただく、ということからはじめました。今身近な生活の中でアリオスは何をしたらいいのか(またはできないのか)、その中から長いスパンでいわきアリオスが果たしていく役割を確認していけるのではないかと、という考え方からです。実際、地域や環境、時間によって生活の状況が大きく違い、パフォーミングアーツセンターであるアリオスのやるべきこともずいぶん違っていることなど、私たちが頭で考えても気がつかなかったことをいくつも教えて貰ったり、感じたり、納得したりすることができました。そして、スタッフの間でも何回か討議をして、そのなかで皆さんの希望を聞きながら、なるべく早いうちにおでかけアリオスを実施しようということで準備をしてきましたが、6月4日、5日の高校演劇部向けのワークショップ、「ままごと」「わが星」より ラップと演劇のコラボレーション」から事業をスタートさせます。皆様のご協力をお願いいたします。

旭川の旭山動物園は今や動物園という施設の考え方をリードする存在ですが、ウイルスの蔓延で一時休園という大きな危機がありました。何にもないそのときに職員がやったことは、

- ・「こんな施設があると良いなあ」
- ・「動物のこんな行動を見て貰いたい」

などということ職員みんな話合っぺいことだったと言います。今は絵本作家として有名になった あべ弘士さんもそのひとりで、彼がみんなの思いや夢をスケッチブックに描いていった絵がその後のこの動物園の原点になっていきました。アリオスの休館も、そんな未来に繋がっていくことを祈ります。

おでかけアリオス いわき市内の高校演劇部のためのワークショップ 「00:00:00」ワークショップ

(「れいじ・れいふん・れいびょう」ワークショップ)

～ままごと「わが星」より ラップと演劇のコラボレーション～

■日時：

平成 23 年

6 月 4 日 (土)

10:00～15:00 ワークショップ

17:30～19:30 リーディング 「わが星」 (公開リハーサル) (※)

19:30～20:00 アフタートーク (※)

6 月 5 日 (日)

10:00～16:00 ワークショップ

17:30～19:30 リーディング 「わが星」 (※)

19:30～20:30 アフタートーク (※)

(※印については、次ページをご覧ください)

■会場：

福島県立いわき総合高等学校 (演劇実習室 および教室)

※上記のワークショップ部分への、一般の方の参加・見学はできません。

■企画趣旨

2011年3月の震災の影響でいわきアリオスでの上演が中止となった演劇公演、ままごと「わが星」のメンバーにより、いわき市内の高校演劇部員を対象に、演劇ワークショップを開催します。2009年に初演され鮮烈な印象を残した「わが星」は2010年の第54回岸田國土戯曲賞受賞に輝き、今年4月から全国5ヶ所を回るツアー中です。本来であればいわきアリオスでの上演がツアーのラストを飾る予定でした。今回のワークショップはその「わが星」公演の中で重要な要素を担う曲、□□□(クチロロ)の「00:00:00」をモチーフとしたラップと演劇のコラボレーションワークショップとなります。2日間かけて、高校生それぞれのオリジナル歌詞をリズムにのせて曲にしていきます。2日間でいわきオリジナルバージョンの完成を目指します。

東日本大震災により、いわきは大きなダメージを受けました。高校演劇部の活動にも大きな制限がでていると聞いています。このワークショップが、いわきの高校演劇の存続にパワーを注入する機会になればと思っています。

■企画概要

- ・「00:00:00」ワークショップ

～ままごと「わが星」より ラップと演劇のコラボレーション～

〔講師〕 柴幸男 (演出家・劇作家) と ままごと「わが星」公演出演者

〔対象〕 いわき市内の高校演劇部員 〔参加費〕 無料

■アーティスト・プロフィール

柴 幸男 (しば・ゆきお)

1982年生まれ愛知県出身。「青年団」演出部所属。「急な坂スタジオ」レジデント・アーティスト。日本大学芸術学部在学中に『ドドミノ』で第2回仙台劇のまち戯曲賞を受賞。2010年『わが星』にて第54回岸田國土戯曲賞を受賞。何気ない日常の機微を丁寧につくいとる戯曲と、ループやサンプリングなど演劇外の発想を持ち込んだ演出が特徴。全編歩き続ける芝居(『あゆみ』)、ラップによるミュージカル(『わが星』)、一人芝居をループさせて大家族を演じる(『反復かつ連続』)など、新たな視点から普遍的な世界を描く。あいちトリエンナーレや精華演劇祭への参加、岐阜県可児市での市民劇の演出、福島県いわき総合高校での演出など、全国各地にて精力的に活動している。

現在、シアターガイドにて『まちびときたる』を連載中。コラムやエッセイ、ドラマ脚本等、演劇外の活動も多岐にわたる。

おでかけアリオス@いわき総合高校（高校演劇部＋一般対象公演）
ままごと「わが星」リーディング公演

■日時：

6月4日（土）（公開リハーサル）

17:00 受付開始 17:20 開場 17:30 開演 19:30 終演
19:30～20:00 アフタートーク

6月5日（日）

17:00 受付開始 17:20 開場 17:30 開演 19:30 終演
19:30～20:30 アフタートーク

■会場：福島県立いわき総合高等学校（演劇実習室 および教室）

■定員：各回 100 名 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

■料金：無料（要予約）

■受付開始：6月1日（水）10:00～ ※電話受付のみ

■ご予約・お問合せ：

アリオスチケットセンター 0246-22-5800（10:00～20:00）※おかけ間違いにご注意ください

■企画趣旨

2011年6月4日（土）・5日（日）の日程でいわきアリオス中劇場で上演を予定していた演劇公演、劇団ままごとの「わが星」を、いわき市内の高校生向けワークショップの特別企画として急遽リーディング形式で上演することになりました。

これに伴い、一般の方々にむけても空席を特別に開放し、観覧いただけることになりました。

■公演概要

・劇団 ままごと「わが星」

〔作・演出〕柴幸男（ままごと）

〔出演〕青木宏幸 大柿友哉（害獣芝居） 黒岩三佳（あひるなんちゃら） 斎藤淳子（中野成樹＋フランケンズ）
永井秀樹（青年団） 中島佳子 端田新菜（青年団） 三浦俊輔

現在ツアー上演中の「わが星」オリジナルキャストの俳優全員が出演する特別企画です。

ツアー冒頭の東京公演より話題となり、東京公演最終日には当日券を求める 100 名以上の列ができました。その後のツアー公演も小劇場系の演劇公演としては異例の前売り完売公演が相次ぐ注目の公演となっています。いわきでは会場として予定していたいわきアリオス中劇場が東日本大震災の影響で使用できなくなったため公演を中止し、販売を開始していたチケットも払い戻しになりました。この幻の「わが星」いわき公演を、ワークショップ会場となったいわき総合高校でなんとか上演できないかと劇団とともに検討し、狭い会場スペースや機材などの制約はあるものの、リーディング形式での上演を試みようということになりました。現在、できるだけオリジナル公演に近い形での上演を検討中です。

■作品について

2009年10月に劇団「ままごと」の第一作として上演されて大きな話題となった「わが星」は、翌年（2010年）には、演劇界の芥川賞と言われる「岸田國士戯曲賞」を受賞している作品です。

2011年4月～6月、東京を皮切りに、三重・名古屋・北九州・伊丹といわきを含む全国主要6都市において再演ツアーが生まれ、いわきアリオスで6月に上演を予定していましたが、東日本大震災の影響でいわき公演は中止となりました。

『わが星』は、1950年から世界中で上演され続けているソーントン・ワイルダーの名作戯曲『わが町』がモチーフにした「時間と日常の再体験」を、地球という「星」を舞台に表現した作品。人間が生まれてから死ぬまでの100年と、地球が生まれてから死ぬまでの100億年を、団地に住む一家をモチーフに、ある女の子と星の一生を重ねあわせながら描きだしています。

音楽を担当するのは、初演に引き続き、□□□（クチコロ）の三浦康嗣。キャストは、五反田団やハイバイ、快快、チェルフィッチュなど、小劇場界屈指の気鋭劇団に所属または客演経験がある、実力派の初演オリジナルキャストが再集結します。「演劇×ラップ」作品の集大成であると共に、本番の音楽演奏をすべて演出家である柴幸男自身が行うという音楽ライブ的な演出となっています。

共催：ままごと 協力：いわき地区高等学校演劇連盟 福島県立いわき総合高等学校

おでかけアリオス 小学校公演 木田奈保子 ソプラノ・コンサート

■日時と会場：

6月15日（水） 13:30～14:15 好間第一小学校音楽室（3、4年生 122名対象）

6月16日（木） 11:10～11:55 湯本第一小学校音楽室（3年生 72名対象）
13:15～14:00 湯本第一小学校音楽室（4年生 61名対象）

6月17日（金） 13:10～13:55 赤井小学校（6年生 54名対象）

※この公演は、一般の方はご覧になれません。

■企画趣旨

震災や原発事故の影響を受け、市内小中学校の子どもたちは、余震への恐怖や、日常的活動の制限など、多くのストレスを受けながら日々を過ごしています。「おでかけアリオス」でアーティストと出会い生の芸術にふれることが、少しでも心を和らげたり、感性の豊かさを取り戻したりする一助となれるよう、プログラム内容の研究や開発に一層の力を注いでいきたいと考えています。本市出身のソプラノ歌手・木田奈保子氏の「おでかけアリオス」では、氏の得意分野でもあるオペラ・アリアをわかりやすく楽しく紹介するほか、「一緒に歌う」プログラムを盛り込み、声を合わせて歌う楽しみや、曲に込められた詩情を味わう体験を子どもたちのもとへ届けていきます。

■公演概要

昨年度実施したいわきアリオスの事業「おでかけアリオス研究会」（※）参加アーティストによる、市内小学校へのおでかけアリオス。

〔出演〕 木田奈保子（ソプラノ）
〔伴奏〕 鈴木智子（ピアノ）

※おでかけアリオス研究会＝いわき在住および出身の演奏家をオーディションで4名選考。「対象に応じたオリジナルプログラムづくり」をテーマに半年間研究会を重ねた後、2011年1月に市内で実際におでかけアリオスを行いました。

■アーティスト・プロフィール

木田奈保子（きだ・なおこ）

いわき市湯本出身。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業、東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース卒業。学生時代からオペラ・オペレッタの舞台や合唱ソリストとして活躍。第4回北クイーンズランド・コンチェルト&ヴォーカルコンペティション、ヴォーカルセクション第三位入賞。

2008年4月、いわきアリオス開館記念公演「小林研一郎（指揮）NHK交響楽団 & いわき市民第九の会合唱団 コバケン“炎の第九”コンサート」では、合唱団のヴォイストレーナーとして公演の成功に貢献。2009年8月「真夏のオペラティック・コンサート」では、同じくいわき市出身の大倉由紀枝、松本進、小林大作らと共演。2010年7月、いわきアリオス・グランドオープン一周年記念「小林研一郎指揮 東京都交響楽団 第九演奏会」においても、合唱団の指導・ヴォイストレーニングを行った。またヴォイストレーナーとして多くの小・中・高の合唱部を指導し、コンクールでの優秀な成績を導いている。

おでかけアリオス 小学校ダンスワークショップ 珍しいキノコ舞踊団 ダンスワークショップ

■日時と会場

6月22日（水）午後 白水小学校 体育館 （全校児童対象 7名）

6月23日（木）午前 大野第二小学校 体育館 （1～3年生対象）
（未定）大野第二小学校 体育館 （4～6年生対象）

※このワークショップは、一般の方の参加・見学はできません。

■企画趣旨

震災や原発事故の影響を受け、市内小中学校の子どもたちは、余震への恐怖や、日常的活動の制限など、多くのストレスを受けながら日々を過ごしています。「おでかけアリオス」でアーティストと出会い生の芸術にふれることが、少しでも心を和らげたり、感性の豊かさを取り戻したりする一助となれるよう、プログラム内容の研究や開発に一層の力を注いでいきたい。

テレビや雑誌でも引っ張りだこの振付演出家・伊藤千枝氏の「おでかけアリオス」では、震災後ふさぎ込みがちな子どもたちの心を、体を動かすことで解放するとともに、他者と連携して行う身体表現の中で生まれる子どもたちオリジナルの新しいダンスを体感するワークショップを実施する予定です。

■企画概要

「おでかけアリオス」初となるダンスワークショップを、市内小学校へおでかけして実施します。講師は、テレビCM「アセロラ体操」で話題の珍しいキノコ舞踊団の振付演出家・伊藤千枝氏。「ダンスを発明する」という切り口でダンスを創作するワークショップ内容です。

〔講師〕 伊藤千枝（振付演出家）、アシスタント1名

■アーティスト・プロフィール

伊藤千枝（いとう・ちえ）

振付家・演出家・ダンサー・珍しいキノコ舞踊団主宰。1990年、日本大学芸術学部在学中に珍しいキノコ舞踊団を結成。以降全作品の演出・振付・構成を担当。作品発表のほか、映画、映像作品、演劇への振付、出演、他のアーティストとのコラボレーションなど、その活動は多岐にわたる。2003年～2004年、NHK教育番組「ドレミノテレビ」、2007年、映画「めがね」（荻上直子監督）、UA「黄金の緑」などの振付のほか、最近ではCMの「アセロラ体操」などでも注目されている。

2005年より桜美林大学の非常勤講師を務める。

おでかけアリオス 一般向け公演+小学校

ko-ko-ya ライブ (コーコーヤ・ライブ)

■日時と会場

【一般向け公演】

6月28日(火) 19:00~20:00 内郷支所 2階ホール

〔対象・定員〕 一般市民 70名

〔料金〕 無料 ※当日直接会場にお越しください。

〔お問合せ〕 アリオスチケットセンター 0246-22-5800 (10:00~20:00)

※おかけ間違いにご注意ください。

【小学校公演】

6月29日(水) 11:25~12:10 菊田小学校体育館 (1~3年生対象)

13:30~14:15 菊田小学校体育館 (4~6年生対象)

※この公演は一般の方はご覧になれません。

■企画趣旨

ブラジルの器楽音楽・ショーロを表現の軸にしつつも、ジャンルを超えた活動で様々なレパトリーの「引き出し」をもつユニット、ko-ko-ya。

今回はコミュニティスペースでの一般向けコンサートから、小・中学校でのおでかけアリオスまで幅広い年齢を対象に、バラエティ豊かな「引き出し」の中身を、惜しみなく披露してくれることでしょう。

■企画概要

笹子重治 (アコースティックギター) 江藤有希 (ヴァイオリン) 黒川紗恵子 (クラリネット) のユニット「ko-ko-ya」(コーコーヤ)による「おでかけアリオス」。

当初、アリオス本館2階のカスケード交流ロビーでの「カスケード交流コンサート」と「おでかけアリオス」への出演を予定していたが、アリオスの臨時休館が続いているため、「おでかけアリオス」のみの実施となりました。

〔出演〕 ko-ko-ya

■プロフィール

2004年、ブラジルの器楽音楽「ショーロ」にインスパイアされた3人が世代を超えて結集、翌年より本格的にライブ活動を開始。フジテレビ系「リストランテ・パラディーズ」の音楽制作を始まりとして、テレビ番組の音楽や、CM等で多数起用されている。それぞれが演奏スタイルにショーロの影響をうけつつも独自の感性でスリリングに歌い上げる、多方面から注目のインストユニット。おしゃれで、スリリングで、ちょっぴりなける温かさも備える、色彩感あふれるサウンドが魅力。これまでにアルバム「antique」(2008)、サントラCD「musica paradiso」(2009)、「Frevo!」(2010)をリリース。

ギターの笹子重治氏は、2007~2008年にいわきを訪れたシンガーソングライターのNUU氏のサポートギタリストとして市内各地で「おでかけアリオス」を行ったほか、2010年2月に中劇場で行ったEPO with Choro Clubコンサート「今日はおかあさんおやすみの日。」にも出演。福島・いわきとの縁は深い。

アートおどろく

Alios plants!

いわき復興モヤモヤ会議

■日時：6月25日（土） 18:00 開場 18:30 開会

■会場：いわき産業創造館ラトブ 6F 会議室 1

■対象・定員：高校生以上、50名

■参加費：無料（要申込み）

■申込方法：6/1（水）午前10時よりアリオスチケットセンターで受付（電話のみ）

■ご予約・お問合せ：

アリオスチケットセンター 0246-22-5800（10:00～20:00）※おかけ間違いにご注意ください

■企画趣旨：

自然災害、原発事故、風評被害... 世界でも前例のない状況に置かれたわが街いわきで、アートにできることは何か、アートにしかできないことは何かを、市民とともに考える会議。創造的で新しい街のあり方を実践しながら提案する場とする。

会議から立ち上がるアイデアを、実行に移すためのフェーズも用意し、出来ることからチャレンジし、現場での実践を通じた実のある計画を策定していくための第1歩を踏み出す。

■企画概要：

アーティスト、起業家、会社員、主婦、学生 etc. 老若男女が肩書きなしに話し合い、まちの未来を思い描く自由な語りの場。

街の「復興」という大きなテーマも、アリオス目線で考えればオモシロくて刺激的な未来への道しるべとなるかもしれません。カフェで語り合うように、気軽な雰囲気での議論する「ワールドカフェ」スタイルの会議です。「アー(っ)トおどろく」のようなアイデアを一緒に発見しましょう。

会場に来られない方のために、ユーストリームによる中継も行う予定です。

〔トークゲスト〕 藤 浩志（美術家）

吉本光宏（ニッセイ基礎研究所 主席研究員 芸術文化プロジェクト室長）

〔司 会〕 末永早夏（ethicafe代表）

※ ワールドカフェ：カフェに居るようなリラックスした雰囲気の中で、多様な人が肩書きや立場を気にせず、気づきや発想を共有していく会議手法。

※ Alios plants：美術家藤浩志の提案により、公立文化施設の可能性を広げる仕組みとして始まった、市民による企画会議。アリオス開館の2008年に始まり「アリオス・パークフェス」「かえっこバザール」「いわきぼうけん映画祭」などの企画を生んでいる。

■プロフィール

藤 浩志（ふじ・ひろし）

藤浩志企画制作室代表、素描家、美術作家。既存の美術家の概念を超えて、違和感と向き合い、もやもやからイメージを立ち上げることをテーマに、地域計画・空間制作・素描・ワークショップ・アートプロジェクトなどを活動のフィールドとしている。いわきでは街とアリオスを連結する装置として「かえっこバザール」や「アリオス・プランツ！」を考案。「地域資源・適性技術・協力関係」を重視し「対話と地域実験」によりイメージを導き出し活動の連鎖を促す表現手法を用いる。

吉本光宏（よしもとみつひろ）

ニッセイ基礎研究所 主席研究員 芸術文化プロジェクト室長

東京オペラシティ、世田谷パブリックシアター、いわき芸術文化交流館アリオス等の文化施設開発や東京国際フォーラムアートワーク整備事業、電通新社屋 アートワークプロジェクトなどのコンサルタントとして活躍する他、文化政策や公立劇場・ホールの運営・評価、クリエイティブシティ、アートNPO、アウトリーチ、メセナなど、アートマネジメント分野の幅広い調査研究に取り組む。現在、文化審議会文化政策部会委員、東京芸術文化評議会専門委員、(社)企業メセナ協議会理事など。

末永早夏（すえなが・さやか）

1981年いわき市小名浜生まれ。福島高専3年修了後、単身渡英。イースト・アングリア大で発展途上国の開発について学ぶ。帰国後いわき市内の企業に就職するが、途上国への想いをさらに強め、2009年10月に(株)ethicafeを設立。ビジネスを通して世界の貧困問題と奮闘中。